

黒部を未来へつなぐ

ご挨拶

4年間の議員任期満了（本年10月改選）まで、あと数か月になりました。これまで多くの方にお世話になり、そして学ばせていただきました。まだまだ力不足を感じながらですが、皆さんから届いた声を少しでも市政に届けるように取り組んでまいりました。

私は、障がい、貧困、引きこもりなど、どんな境遇の子どもであろうと将来に夢を持ち、大人になったら自立できる社会に。その為には私たち大人がしっかりしないといけませんし、私たちの未来の姿である高齢者の生活もより良くしていかなければいけないと考えています。ゆりかごから墓場まで切れ目なく安心・安全で安定した生活ができるようにするためにより良い制度になるように努力をしてまいりますので、どうか、皆さんの声をお聞かせください。

黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき

まさゆきの8つの想い

1. 観光地整備と情報発信力の強化
2. 住み続けたいと思えるまちづくり
3. 安心・安全なまちづくり
4. 都市基盤の整備
5. 人口減少時代のまちづくり
6. 災害に強いまちづくり
7. 働き場所のあるまちづくり
8. 生き活きと生活ができるまちづくり

まさゆきの視察・勉強会

11月 ノロウイルス拡大防止 研究会受講

1月 ロケーションジャパン編集部訪問

2月 富山県ひきこもりサポーター養成講座受講

3月 世界ダウン症の日の啓発活動

4月 第13回地方議員特別セミナー in 敦賀

12月 第13回全国若者・ひきこもり共同実践交流会 in とやま参加

ねむの木学園研修

香川県豊島 産廃不法投棄現場視察

第13回地方議員特別セミナーにて



黒部は今、分岐点！ 先人の努力を次世代へつないでいきたい。



なりかわ 成川まさゆき

facebookで活動公開中！

平成 29 年 12 月議会

1. インクルーシブ教育の推進について

(問) 小中学校における特別支援級、通級児童生徒、担任数の現状と推移。教員の増員の考えは。

(答)

小中学校児童生徒数	平成 21 年	平成 25 年	平成 29 年
特別支援学級 (担任数)	43 人 (20 人)	58 人 (26 人)	87 人 (29 人)
通級指導教室 (担任数)	38 人 (2 人)	71 人 (4 人)	98 人 (4 人)

児童生徒は増加傾向。教員増については、県に働き掛けていく。※中学校には通級指導教室なし。

(問) 特別支援学校教諭免許の保有率は、また教員免許取得の方法と現状は。

区分	免許状保有者数 (管理職・養護教諭除く)
小学校	128 人中 18 人 約 14%
中学校	75 人中 5 人 約 7%

【まさゆきの視点】

2016 年 4 月に障害者差別解消法が施行され、公立学校では合理的配慮が義務となり、障害のある子どもが地域で共に学ぶことは、権利として規定されることとなりました。私たちの多くは、子どもの頃から特別支援学校・特別支援学級があり、「同じ場所でもとに学ぶ教育」を受けておらず、障がい者がいない環境が普通のことのように思う傾向があります。子どもの頃に障がい者を分けてしまうと大人になっても一緒に生活することに違和感が生まれやすくなります。それを排除しようとするのがインクルーシブ教育です。制度だけを進めようとすると、子ども達だけではなく先生たちも疲弊してしまうと考えます。進めていくためには、周囲の理解と教育現場環境を整えることが必要だと思います。



(答) 取得するには夏季休業・冬季休業期間中に最低 2 日間の講習受講必要で、平成 28 年度に 1 人、29 年度に 2 人受講。

(問) 教員開発や教員のための書籍費は十分か。また教材置き場と教材費の確保は。

(答) 今年度、担当教員に聞き取りを行い、タブレット端末や整理棚等の必要な備品について確認。今後、確保に努めていく。



(問) インクルーシブ教育を広げる為に子ども達に関わる場所への呼びかけを。

(答) 市教育委員会や学校の教員が保育所、幼稚園を訪問。また、保護者の面談を行い各学級のメリット・デメリットを説明している。

2. 地方経済分析システム (RESAS) から見る観光戦略

(問) 北陸新幹線開業後、連泊の方が増加している。今後の対策は。

宿泊数	伸び率
1泊	13.25%
連泊	40.76%

(答) 新幹線開業前後の宿泊者数比較 (H26・H27)。理由としては、「北陸新幹線開業」により、個人客、特に時間的余裕のある「アクティブシニア」(※定年退職後も様々な活動に意欲的に取り組む元気なシニア層)の入込が増えたこと。現在、市内の宿泊施設では、朝の散歩や朝食に工夫をしており、取り組みがさらに進み、連泊につながるよう、事業者、観光局とも連携していく。

(問) 60 代女性の宿泊者が多い理由と女性グループを意識したお土産などの商品開発について

(答) 活動的な女性シニア層が、北陸新幹線開業のタイミングで来

訪したことが大きな要因ではないかと考えている。今後、商品開発などへの活用が更に進むよう、商工会議所や観光局等とも連携していく。

(問) 外国人観光客について、外国人滞在分析では、9 月～ 11 月が日中に訪れる観光客が多いのに夜間の人口が極端に少ない。秋シーズンの宿泊に繋げる施策と富山県への出入国実績の多い空港での PR を。

(答)

外国人宿泊者数	4月~6月	9月~11月	外国人滞在人口	昼間	夜間
H28年	10,431人	5,279人	9月~11月	12,264人	3,759人

理由として、①国内旅行がハイシーズンで予約が取りづらい。②宿泊単価が高い。今後は、RESAS を活用した外国人誘客へ向けた PR を研究していく。

でしょうか？多くの声は、「今から英語を学ぶのは無理でも、やさしい日本語なら出来そうだ。」です。自信を持って外国人対応が出来たら、おもてなしになると考えますが、どう思いますか。

(問) 市内観光関係者を対象に「やさしい日本語セミナー」を実施しては。

(答) 今後海外からの観光客の増加も見込まれるので、先進地の実績を見ながら研究していく。

【まさゆきの視点】

この計画を推進し、多くの観光客に訪れていただくためには、様々なデータを集めて、そのデータを読み取り確実に成果を上げることが重要であると考え、質問しました。また、黒部市に訪れる外国人を見ると英語圏ではないアジア圏の方々が多いです。私たちも外国に観光で訪れるときには、その国の挨拶ぐらいは事前勉強していくと思います。現地の言葉で買い物が出来たら、コミュニケーションが出来たら、嬉しくなるのではないのでしょうか。中国や韓国で英語で話しかけられたら、どう



ある。

(問) 空き家情報バンク掲載件数と荷物移動の支援を。

(答) 現在登録数 22 件は、周辺自治体の登録件数と比較して少ない。「空き家情報バンク仲介報奨金」を実施し、空き家情報バンク登録及び契約件数の増加を図っていく。

(問) 本市の移住定住応援団の現状と窓口は。

(答) 昨年 7 月に「くろべで住もう移住定住サポート協議会」を設立し、本市の総合的かつ一元的な移住定住施策を推進する体制を整備した。現在、土日窓口はなく、事前連絡の方には、個別対応している。市役所窓口一本化に対しては、専門性が高く現状では難しい。企画政策課を主たる窓口とし、関係各課連携で相談ののっていく。

平成 30 年 3 月議会

1. 移住定住施策について

(問) 仕事情報サイトの募集掲載の増加を。

(答) とやまUターンガイド黒部市内企業の求人情報掲載数 34 件 (H30.2 現在)。活用が更に進むよう企業登録、募集掲載の促進に努めていく。

(問) 現在の移住体験ツアーと市内交流宿泊施設の利用状況は。

(答) 開催を試みたが、残念ながら応募者がおらず未実施となった。「住定夢の館」は、昨年度 46 世帯、延べ 256 泊の利用があった。今年度は 2 月末現在であるが、37 世帯、延べ 174 泊の利用実績で



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸 (なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



【まさゆきの視点】

都会から地方への移住窓口になっている「ふるさと回帰支援センター」の移住相談がシニア層から若者層にシフトし、件数が近年、急激に伸びています。少しでも人口減少を食い止めるために効果的と思われるのが仕事、住居、そして支援団体・協議会などの応援団の3点。黒部の住みやすさをもっとPRをしなければいけないと思います。

2. 地域団体の支援について

(問) 老人クラブ会員数と地域にあるボランティア団体の現状と今後。

(答) 5,350人(H29.4.1現在)で年々減少傾向にある。ボランティアは、77団体1,896名登録(H30.3現在)。高齢化が進み、人数が減少傾向にある。社協にはボランティア活動コーディネーター1名。くろべボランティアセンターでは、ボランティアサポーターを

1. 第7期介護保険事業計画に向けて

(問) 第6期計画での整備未達成事業の対応策と第7期の重点的に行うサービスの整備と課題は。

(答) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護施設を除き、あらためて第7期計画に盛り込み、必要な施設整備に取り組む。介護保険サービスとしては、「訪問リハビリテーション」及び「通所リハビリテーション」の充実に努める。



2. ケーブルテレビ加入促進の取り組みについて

(問) 新設住宅においてケーブルテレビ加入数とPR方法は。(H29.4~H29.10)

新規加入者数	左記から集合住宅を除く世帯数
293世帯	178世帯(中古住宅を含む)

(2) 番組制作にあたり、視聴者のニーズの把握方法は。

毎年、年末に視聴者アンケートを新聞折り込みにより各家庭に配布し、毎年200件前後の回答がある。また、番組審議会を年1回開催し、視聴者ニーズの把握に努めている。

平成30年2月

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会

1. 第7期介護保険事業計画について

(問) リハビリサービスと資格者の人材確保は。

(答) 第7期計画では、通所リハビリテーション事業所の増設を目指している。新たに本年1月よりあさひ総合病院において、資格者の人材を確保したうえで、訪問リハビリテーション事業を開始したところであり、第7期期間は今の体制を継続する。

(答) 特徴

全国平均と比較し、施設サービスの受給率が高い反面、居宅サービスの受給率が低い傾向
居宅サービスの中では、訪問入浴、訪問看護、短期入所、地域密着型サービスの定期巡回・随時対応型訪問介護看護などの受給率が低い傾向
本組合の高齢化率が全国平均より高い傾向

課題

利用しない理由
①サービス利用の必要がなくなった。
②お守り認定。
③サポートする方が家族や近所にいる。

(問) 管内での訪問入浴介護サービス事業所数と今後の整備計画は。

(答) 現在、管内における訪問入浴介護事業所は、入善町に1事業所あるのみ。在宅生活継続のためには、欠かせないサービスだが、第7期での整備予定はない。

各地区に11名配置している。H30年度は、市内全16地区に配置予定。

【まさゆきの視点】

現在、本市の高齢化率は約30%であり、約3人に1人が65歳以上となっている。今後さらに少子高齢化が進むことを考えると、年齢関係なく地域で支えていく事がますます大事であり今後、「お互い様」の精神が安心して住める地域を作っていくのだと考えます。「お互い様」は、「地域包括ケアシステム」の基盤になると言われ、意識的に強化を行わなければ、強い「互助」を期待出来ないと言われてきている事から、地域団体はとでも重要だと思えます。



平成29年12月

新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会

利点とPR方法

- ①アンテナ受信では視聴できない北陸朝日放送を視聴できること。
- ②コミュニティチャンネルで地域に密着した番組が視聴できること。
- ③設計業者が施主にケーブルテレビの加入について確認、高い加入率を維持している。今後、集合住宅を中心にPRを行い、加入率の向上に努めていく。

3. ケーブルテレビの番組制作について

(1) 第7期介護保険事業計画がスタートするが、番組の更新の考えは。 毎日、介護予防体操を放送し、自宅においても介護予防に気軽に取り組めるようにした。上半期の実績として、リハビリテーション専門職が実践する体操番組を4本、民間の団体がそれぞれの地区で実際に実施している体操を紹介した番組を5本制作し放送している。第7期においても引き続き、番組を続けていきたい。

(問) 介護保険等サービスを利用していない要介護認定者への訪問等人数と推移と利用しない理由は。(答)

区分	人数(人)	利用しない理由
要介護認定第1号被保険者	4,720人	①サービス利用の必要がなくなった。
//(介護サービス利用者)	4,081人	②お守り認定。
//(介護サービス未利用者)	639人	③サポートする方が家族や近所にいる。

利用していない要介護認定者への対応は、フォローが必要と思われる方を抽出し訪問等を実施。本年度は、これまで25名のお宅訪問、その内1名、介護サービス等の利用に繋げている。

(問) 地域包括ケア「見える化」システムから本組合の特徴は何か。また、様々なデータも利用しながら進めては。

(問) 平成30年10月から福祉用具の貸与価格の上限が設けられるが、どのように進めていくのか。

(答) 1年ごと価格を確認して、上限越えの貸与が行われることのないようしっかりと点検していく。

【まさゆきの視点】

生活が困難になっていないか、介護レベルが上がらないかなど、介護保険等のサービスを利用していない要介護認定者は特に注視しなければならないと考えます。社会から取り残される人を作らないように市や町と連携しながら、しっかりサポートをお願いしたいと思います。また、過去の経験だけではなく、データを検証しながら、適正に効率よく運営をし、今後の事業計画にも反映させていただきたいと思えます。

なりかわ 黒部市議会議員
成川まさゆき



facebookで
活動公開中!



人口から未来の黒部市を考えてみませんか？

全国的に少子高齢化が進んでいる中、黒部市も例外ではありません。しかし、地域別に見てみると差があるのが分かります。

公共施設や道路・橋梁などのインフラ資産の老朽化課題も解決していかなければいけません。

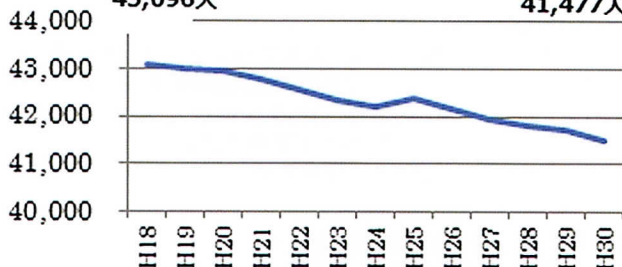
未来の黒部市のために一緒に考えてみませんか。

H18.3末 黒部市人口

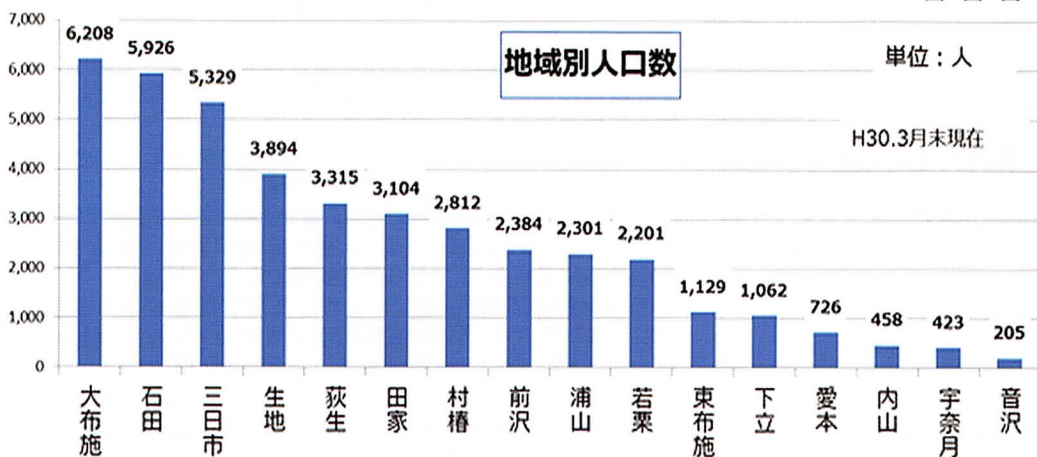
43,096人

H30.3末

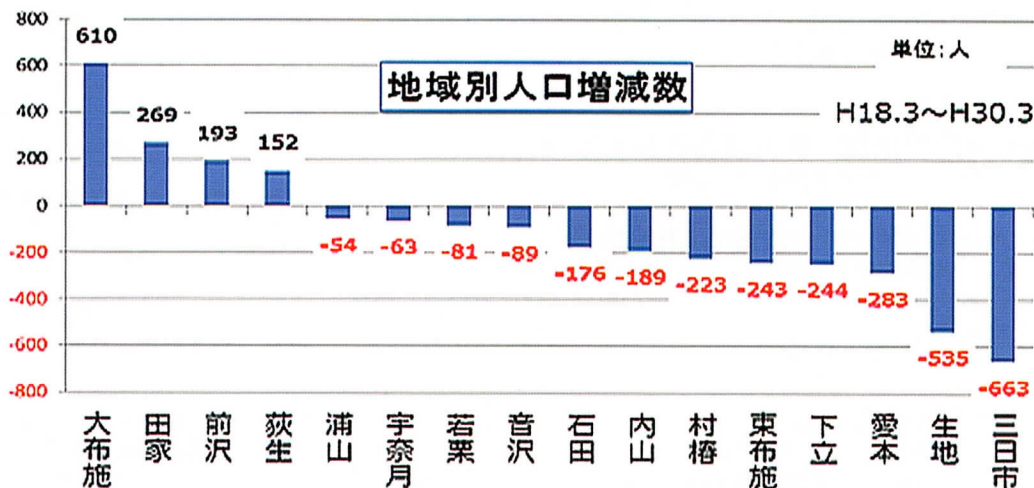
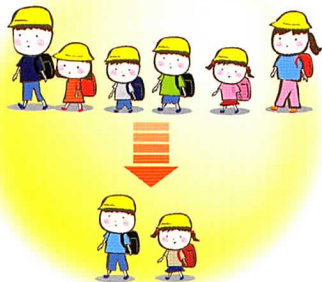
41,477人



各種人口グラフ



減少傾向



区分 (単位: 人) 3月末	黒部市	魚津市
H29 年度に生まれた数	272	245
15 歳未満人口	5,047	4,636
15~64 歳人口	23,694	23,657
65 歳以上人口	12,736	13,931
総人口	41,477	42,224

魚津市と比較してみました。総人口では、千人近く違いますが、その差は65歳以上の方が多いため、それ以外の年齢層では黒部市が多い事が分かります。



まさゆき
チエツク

なりかわ facebook で活動公開中!
成川まさゆき



なりかわ
成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL&FAX(0765)57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com